

新年の柴田会長ご挨拶

一般社団法人 日本伸銅協会
会長 柴田 光義



皆様、新年明けましておめでとうございます。

2021年を迎えるにあたり、謹んでお喜び申し上げます。

まず初めに、新型コロナウイルスの感染拡大防止と治療に取り組まれている医療関係者をはじめ関連する全ての皆様に、心からの敬意と謝意を表したいと思います。

昨年は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、経済活動も停滞し、私たちの生活様式にも大きな変化が起こりました。

我が国の伸銅品の2020年暦年の生産量ですが、すべての品種で大きく低迷し、推定値として対前年比マイナス15%程度の約64万トンとなります。これは1975年以来の低水準です。

足元では、条製品は、秋以降自動車や半導体向けを中心に回復基調が鮮明ですが、住宅・ビル・空調設備などに用いられる黄銅棒や銅管は回復が遅れ

ています。今後、従来の需要分野の回復に加えて、EV、5G、IoT、DX、新エネルギー、抗菌などの需要拡大が急速に進むものと期待しています。

また我々製造業として、製造現場をはじめ全ての関係者が今後とも安全第一はもとより新型コロナウイルス対策に最大限の努力を傾注し、需要家への安定供給に万全を期してまいります。

当協会は、昨年は新型コロナウイルス対応という新しい状況の中で、会員企業のニーズの変化に迅速かつ柔軟に対応することを第一として活動いたしました。また、一時期は全ての会合が書面開催という状況でしたが、その後は、理事会についてもWEBとリアルを併用するハイブリッド会議を導入するなど「新たな生活様式」への積極的な対応を進めております。

今年の当協会の活動については、先ず、次のような従来からの事業を引き続きしっかりと行ってまいります。

- ・安全、品質管理、コンプライアンス関係
- ・技術開発と新規需要開発
- ・人材育成
- ・統計、JIS等の基盤的業務
- ・会員交流の機会提供

更に、新型コロナウイルス対応の継続が求められる中で

- ・伸銅業自身がより強靱で柔軟な経営が行えるための会員支援

- ・ 新たな需要を捕捉するための複数の需要業界との連携促進
- ・ S D G s、ゼロエミッション社会などの人類全体にかかわる大きな課題
に対する伸銅業としての貢献の在り方の検討

などの新たな課題についても挑戦していく所存です。

最後に、関係の皆様のみすますのご健勝をお祈り申し上げますとともに、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。